

証券コード: 2580 2016年3月発行

コカ・コーライーストジャパン株式会社



コカ・コーライーストジャパン株式会社 代表取締役社長 カリン ドラガン Calin Dragan

ごあいさつ

2013年7月1日に関東・東海地区コカ・コーラボトラー4社の統合により誕生し、2015年4月1日には仙台コカ・コーラボトリング株式会社(以下「仙台社」といいます。)を事業統合した当社は、「成長に向けたOne+ロードマップ」の戦略に基づき、人材、事業構造やプロセス等の様々な事業変革を進めてまいりました。

国内の清涼飲料業界は、競合他社との価格競争や、消費税引き上げ後の購買業態の変化、プライベートブランド商品、コンビニコーヒーの成長など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況下において、本年は、当社の中期経営計画であるOne+ロードマップの実行段階に入ります。変革を継続しながらも、この取り組みが安定したものとなるよう、市場での実行力を高めるため、販売チャネル、エリア、時期、飲料カテゴリーごとに力を注ぎ更なる成長を目指してまいります。

また、日本コカ・コーラ株式会社とのパートナーシップのもと、コカ・コーラ新キャンペーンをはじめとした販促活動や新製品導入を積極的に実施するとともに、合併による更なるシナジー効果を追求し、成長のスピードを加速させ、世界に通用する日本のコカ・コーラボトラーとなることを目指してまいります。

今後ともより一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

◆ 2015年12月期の活動概要

- ●仙台社の事業統合(2015年4月1日付)
- 当社および他社製品を取り扱う自動販売機オペレーションを行う子会社8社の統合(2015年4月1日付)
- 統合後の更なる業務変革の基盤となるERPシステム「CokeOne+」のバックオフィス向けフェーズ1の稼働開始(2015年4月) と立ち上げ後の運用の安定化
- ●新規製造設備ライン(海老名工場、茨城工場、岩槻工場)ならびに新規ボトル缶製造ライン(東海工場)の完成・稼働開始
- ●RTM(Route-to-market)による営業活動効率向上プログラムを当初予定どおり、全営業拠点に展開完了
- ●仙台社の人材、プロセス、システム等の統合
- ●仙台社およびその子会社を当社グループに統合(2016年1月1日付)

2015年12月期の連結業績

2016年12月期の連結業績予想

売 上 高: 563,162 百万円 (前期比 7.6% ⑩) → 売 上 高: 571,300 百万円 (前期比 1.4% ⑩) 営業利益: 10.791 百万円 (前期比 15.3% ⑩) → 営業利益: 14.000 百万円 (前期比 29.7% ⑪)

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 2014年12月31日現在	当期末 2015年12月31日現在
資産の部	•	
流動資産	127,969	127,343
固定資産	214,703	244,428
有形固定資産	179,442	210,318
無形固定資産	5,488	8,361
投資その他の資産	29,772	25,748
資産合計	342,672	371,771
負債の部		
流動負債	81,791	82,668
固定負債	47,126	58,156
負債合計	128,917	140,825
純資産の部		
株主資本	215,301	231,089
資本金	6,499	6,499
資本剰余金	143,134	157,313
利益剰余金	66,837	68,454
自己株式	△1,170	△1,178
その他の包括利益累計額	△1,770	△564
新株予約権	223	420
純資産合計	213,754	230,945
負債純資産合計	342,672	371,771

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 2014年1月1日から 2014年12月31日まで	当期 2015年1月1日から 2015年12月31日まで	
売上高	523,299	563,162	
売上原価	283,963	302,087	
売上総利益	239,336	261,075	
販売費及び一般管理費	229,979	250,284	
営業利益	9,356	10,791	
益業外収益	1,240	1,368	
営業外費用	990	1,748	
経常利益	9,606	10,411	
特別利益	819	1,175	
特別損失	3,880	3,300	
税金等調整前当期純利益	6,545	8,286	
法人税、住民税及び事業税	3,963	1,956	
法人税等調整額	△852	975	
法人税等合計	3,110	2,932	
少数株主損益調整前当期純利益	3,434	5,354	
当期純利益	3,434	5,354	

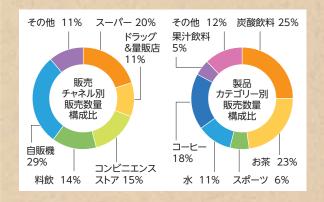
当期のポイント

連結貸借対照表

- 主に仙台社の事業統合等により総資産は増加
- 仙台社統合に伴う株式交換のための新株発行による 資本剰余金の増加により純資産は増加。また社債の 発行により負債は増加

連結損益計算書

- 仙台社の統合等により、売上高、営業利益ともに増加。
- 仙台社の事業統合効果や新製品の好調と市場実行力により販売チャネル別、製品カテゴリー別それぞれ、すべてのカテゴリーで販売数量が増加



連結キャッシュ・フロー計算書

- ・売上債権の増加などにより営業活動によるキャッシュ・フローは増加
- 投資活動によるキャッシュ・フローの有形固定資産や無 形固定資産の新規取得、財務活動によるキャッシュ・ フローの短期借入金やリース債務による支出などによ り、当期末の現金及び現金同等物は減少

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)(単位:百万円)

科目	前期 2014年1月1日から 2014年12月31日まで	当期 2015年1月1日から 2015年12月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	12,455	39,576
投資活動による キャッシュ・フロー	△40,546	△33,207
財務活動による キャッシュ・フロー	23,272	△10,276
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△4,818	△3,907
現金及び現金同等物の 期首残高	29,790	24,971
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	_	509
現金及び現金同等物の 期末残高	24,971	21,573



仙台コカ・コーラボトリング(株)を 吸収合併

当社グループのさらなる市場競争力の強化をめざし、2016年1月1日付で仙台コカ・コーラボトリング(株)を吸収合併しました。あわせて同日付で仙台コカ・コーラボトリング(株)の子会社4社をそれぞれ当社の100%子会社に吸収合併しました。

これにより「成長に向けたOne+ロードマップ」を強力に推進し、 日本最大のコカ・コーラボトラーとしての地位をさらに強固にしてまい ります。



コカ・コーラ「森に学ぼう」プロジェクト in 厚木市七沢

2015年10月24日、当社海老名工場の水源域である神奈川県厚木市七沢地区にて、 "コカ・コーラ「森に学ぼう」プロジェクト"を実施しました。「森に学ぼう」プロジェクトは全国各地で展開する自然保護活動や環境教育プログラムとして2006年から実施しているもので、 今回のプログラムにご参加頂いた33名の皆さまには間伐作業と間伐材を利用した木工制作

を体験して頂きました。参加された方からは、体験を通じて改めて森林の役割や間伐の必要性を学べた、などといったご感想を頂き、水資源を守ることの大切さを学んで頂くことができました。コカ・コーラシステムでは積極的な水資源保護活動「Water Neutrality」に取り組んでおり、今後もさまざまな水資源保護の取り組みを続けていきます。

「第3回Go Global Japan Expo2015」にて 特別講演

2015年12月、明治大学駿河台キャンパスで開催された「第3回Go Global Japan Expo2015」にてCCEJ HR本部長の石坂が特別講演を行いました。

「第3回Go Global Japan Expo2015」とは文部科学省と同省補助事業「経済社会の発展をけん引するグローバル人材育成支援」に採択されている42大学、そしてグローバル30および大学の世界展開力強化事業採択大学等による合同の相談・体験イベントです。世界各国の大使館、各種試験団体、英語・

キャリア教育関連団体等もブースを出展しており、CCEJは、本イベントの協賛企業の一社です。

「未来を切り拓くグローバル人材を目指して〜進学・留学を考える〜」をテーマに開催されたこのイベントは高校生が参加対象で、保護者や一般の方も聴講されました。石坂の体験を交えた話に、満席の会場からは笑いや感嘆の声も上がり、大いに盛り上がりました。

Coca-Cola Ambassador 「常総市清掃ボランティア」を実施

2015年11月、9月の関東・東北豪雨災害で甚大な浸水被害を受けた茨城県常総市で、コカ・コーラアンバサダー活動として清掃活動および避難所でのボランティア活動を実施しました。

この活動は例年CCJC主導の元実施している「国際海岸清掃ボランティア活動(ICC: International Coast Cleanup)*」に代わるもの。今年はICCの活動場所と同じ茨城県内の浸水被害を受けた地域の清掃活動に変更されました。

当日はCCEJ社員に加え、日本コカ・コーラ社社員、コカ・コーラシステムと関係のある方々 (NPO、サプライヤーなどを含む)、そして元サッカー日本代表監督でコカ・コーラサスティナ ビリティーアンバサダーを務める岡田武史さんが参加され、総勢120名で活動しました。

* 国際海岸清掃ボランティア活動(ICC)とは、海洋生態系の保護を目的とするアメリカの環境NGOであるオーシャン・コンサーバンシーの主催で1986年より始まったゴミ拾いキャンペーン活動です。 ザ コカ・コーラ カンパニーは、1995年より18年間スポンサーをしており、世界各国のコカ・コーラ社員がボランティア活動に参加しています。







蔵王工場が平成27年度食品衛生優良施設として 厚生労働大臣表彰を受賞





蔵王工場は、食品衛生管理への高い評価をいただき、「平成27年度厚生労働大臣表彰(食品衛生優良施設)」を受賞しました。厚生労働大臣表彰とは、食品衛生の普及向上、食品衛生行政に対する協力および業界の指導育成等に顕著な功績があった方や、他の模範となる優良な衛生施設に対し行われるものです。本年度は全国で110の施設が受賞しました。

Promotion Information



7年ぶりの世界共通テーマをもったグローバルキャンペーンがスタート

「Taste the feeling 味わおう、はじけるおいしさを。」を 共通テーマとして、世界のコカ・コーラシステムが一斉に行 う共通のキャンペーンがスタートしました。

より幅広い世代のみなさまに[コカ・コーラ]の魅力を伝え、そのおいしさを再発見して楽しんで頂く活動を展開していきます。





◆ 会社概要 (2016年4月1日現在)

会社概要

商号 コカ·コーライーストジャパン株式会社

(英文社名: Coca-Cola East Japan Co.,Ltd.)

本店所在地 〒107-0052 東京都港区赤坂六丁目1番20号

代表取締役社長 カリン・ドラガン 代表者

代表取締役副社長 ジャワハル・ソライ クップスワミー

資本金 64億99百万円 2001年6月29日 設立年月日

(2013年7月1日 コカ・コーライーストジャパン

株式会社に商号変更)

上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)

会計監査人 新日本有限責任監査法人

販売エリア 東京都/神奈川県/静岡県/山梨県/愛知県/

岐阜県/三重県/埼玉県/群馬県/新潟県/ 千葉県/茨城県/栃木県/宮城県/福島県/

山形県の1都15県

清涼飲料水の製造、加工および販売 事業内容

役員

取締役		
代表取締役 社長執行役員	カリン・ドラガン	コカ·コーライーストジャパンプロダクツ㈱ 代表取締役社長 FVイーストジャパン㈱ 代表取締役社長
代表取締役 副社長執行役員	ジャワハル・ソライ クップスワミー	財務本部長
取締役 副社長執行役員	コステル・マンドレア	営業本部長
取締役 執行役員	川本 成彦	コーポレート統括部長
取締役 常務執行役員	尾関 春子	法務本部長
取締役	イリアル・フィナン	ザ コカ·コーラ カンパニー 上級副社長(ボトリング投資グループ社長)
取締役	ダニエル・セイヤー	ザ コカ·コーラ カンパニー 西ヨーロッパ ビジネスユニット プレジデント
取締役	 稲垣 晴彦	北陸コカ·コーラボトリング㈱ 代表取締役社長
取締役	高梨 圭二	
取締役	 吉岡 浩	
監査役		
常勤監査役	永渕 富三	
常勤監査役	 杉田 豊	
監査役	野﨑 貞夫	キッコーマン㈱ 顧問
監査役	近藤 原臣	日本コカ·コーラ㈱ バイスプレジデント社長室長

◆株式情報(2015年12月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 487,000,000株 発行済株式の総数 127,680,144株 株主数 32,685名

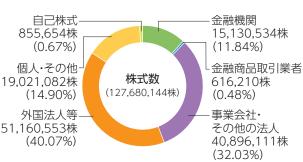
大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
EUROPEAN REFRESHMENTS	20,605,579	16.13
日本コカ・コーラ株式会社	16,669,354	13.05
株式会社千秋社	5,451,200	4.26
東洋製罐グループホールディングス株式会社	5,126,090	4.01
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	5,042,835	3.94
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SPECIAL ACCOUNT NO.1	3,376,144	2.64
カメイ株式会社	3,373,548	2.64
株式会社引高	2,668,548	2.09
THE COCA-COLA EXPORT CORPORATION	2,250,500	1.76
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,983,800	1.55

^{※1.} 持株比率は、表示単位未満を切捨てて表示しております。

株主分布状況





^{※2.} 当社は、自己株式を855,654株保有しております。

◆◆ 株主インフォメーション

株主優待制度のご案内

当社では日頃のご支援に対する感謝のしるしと、当社製品へのご理解を深めていた だく機会として、毎年12月31日現在の株主のみなさまに、年1回当社製品を贈呈し ております。

● 贈呈時期(年1回贈呈)

12月31日現在名簿記載の株主さま

▶ 4月上旬にご送付いたします

● 贈呈基準

100株以上500株未満保有の株主さま

▶ 当社製品12本

500株以上保有の株主さま

▶ 当社製品24本



優待品製品例(写真の製品と異なる場合があります。)



配送に関するお問い合わせ

株主優待事務局 > TEL 0120-676-545(フリーダイヤル)※2016年6月末まで

単元未満株式の買取・買増請求制度のご案内

当社株式の証券市場での取引は100株(1単元)となっており ますので、1~99株(単元未満株式)を市場で売買することは できません。単元未満株式については、当社に対して買取請 求(売却)、または100株単位となるよう買増請求(購入)でき る制度があります。

55株をご所有の場合

買取請求の場合

買増請求の場合



45株



支払



コカ・コーライーストジャパン



買取請求



買増請求





株主さま 100株

IRサイトのご案内

その他IR情報や、個人投資家のみなさま向けの コンテンツもホームページに掲載しております。 是非ご参照ください。

コカ・コーライーストジャパン IR

検索

株式事務のお手続きに関して

住所変更、買取、買増請求、その他の株式に関するお手続き につきましては下記へお問い合わせください。

- 旧コカ・コーラ セントラル ジャパン(株)
- 旧東京コカ・コーラボトリング(株)旧利根コカ・コーラボトリング(株)

証券口座で株式を保有している

株主さま □座を開設されている 証券会社等

特別口座で株式を保有している 株主さま

の株主さま

特別口座の口座管理機関 菱UFJ信託銀行 0120-232-711(フリーダイヤル)

旧三国コカ・コーラボトリング(株)の株主さま

証券口座で株式を保有している 株主さま

> □座を開設されている 証券会社等

特別口座で株式を保有している 株主さま

特別口座の口座管理機関 0120-782-031(フリーダイヤル)

尚、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本 支店でお支払いたします。

■株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日 剰余金の配当の基準日 6月30日、12月31日 定時株主総会 毎年3月 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 特別口座の口座管理機関 同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (フリーダイヤル) 電子公告により行います 公告方法

※ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない 事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。 公告掲載URL http://investor-jp.ccej.co.jp/phoenix. zhtml?c=251855&p=irol-epnnews

COCA-COLA、コカ・コーラ、COCA-COLA ZERO、コカ・コーラ ゼロ、FANTA、ファンタ、 GEORGIA、ジョージア、爽健美茶、そうけんびちゃ、AQUARIUS、アクエリアス、綾鷹、あやたか、 ILOHAS、い・ろ・は・すはThe Coca-Cola Companyの商標です。

コカ·コーライーストジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂六丁目1番20号 TEL: 03-5575-3749 URL: http://www.ccej.co.jp/





